

各班検討結果 【結果概要】

テーマ：

「所沢市のこれまでの取り組みの成果を確認の上、課題を整理し、今後必要な取り組みを考えよう」

各班（分野別）で出された「これから取り組むべきこと」は、主に以下の内容となった。

分野（班）	これから取り組むべきこと（※主な意見）
1. 人と人との絆を紡ぐまち	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代と介護世代はイコールであり、両世代に対する支援を行う ・医療や介護の相談窓口の一本化 ・市民が福祉に取り組みやすい街づくりを進める。そのため子どもの時から障害者の方と接する機会を作る ・まちづくりセンターや町内会施設を活用して、多世代が集える幅広い催しを開催する（高齢者、障害者、子どもが平等に競え楽しめるeスポーツなどへの取り組み） ・地域で助け合えるよう、基準・ルールを設定し個人情報を開示する ・空き家を、集会施設の増設や起業支援に活用する
2. 子どもが大切にされるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップサービスの充実 ・トリアージする窓口として、子どもよろず課を設置する ・17時15分以降で子育てについて相談できる場や子育てコンシェルジュが居るといい
3. 健幸（けんこう）長寿のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者不足の克服に向け、ボランティアやパートの募集、在宅有資格者の掘り起こし、インターネットの活用等による、人材の発掘と人材募集に関する発信 ・健康づくりやスポーツに関する情報が必要な人に届くために、健康に関する情報発信、SNSの積極的な活用、駅・スーパーなど人が多く訪れる場所での広告、影響力のある方の活用等、多様な手段での情報発信 ・日常的にやる気になれるような運動習慣に向けた取組みや、お散歩コースなどの環境整備、学生等との連携
4. みどりあふれる持続可能なエコタウン	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がない できるだけ早く取り組みを進める ・学校をベースとするエコキャンペーンの実施や体験型の取組みを行う ・再エネ、省エネの必要性やメリットを啓発 ・エコカーや省エネ家電、シェアサイクル等を利用する ・ごみの分別の大切さをSNS等を活用して発信する ・まちづくりの際に緑化の整備を行う
5. 魅力・元気・文化を誇れるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で動線を工夫し、回遊性のある宿泊できるまちにする ・SNSを利用した情報発信、外国人に特化した情報発信に努める
6. 自然と調和する住みよいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・交通管制・信号機等の見直しによる渋滞の解消 ・コミュニティバスのオンデマンド化等による公共交通の利便性向上 ・空き家対策、空き地の活用 ・自然環境・景観資源の保全及び活用 ・自然と利便性が共存する所沢の魅力のPR
7. 未来（あす）を見つめたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画制度に力を入れる ・市の財政状況を出前講座や市のホームページにて丁寧に説明する ・宿泊場所の整備 ・次世代を担っている子どもの意見の積極的な取入れ

各班検討結果 【班別（詳細）】

1班・人と人との絆を紡ぐまち（福祉、防災・防犯、地域活動 など）

最終目標		子どもから高齢者まで広く集える居場所づくり等により、お互いを知り合う場所や機会が生まれ、安心や安全の感じるまちをつくり、それが地域力・防災・防犯を強化する	孤立やひきこもりなどで、幸せを感じられない人の生きがいを進める	障害・高齢の枠を超えた「一人のひと」としての関わりや支援を行う 家族の視点を入れる	ライフステージごとの家族のケアや介護への支援体制（青壮年層が親世代の世話をしやすいまち）をつくる
追い風	強み	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が各地で発生しているので、防災意識が向上している 		<ul style="list-style-type: none"> ・入所、通所施設が充実してきている（但し、将来的には行政の施策強化が求められる） ・一般企業の参入により生活の場（GH）等が増えている（但し、質の向上等行政の監督や指導を強化することが求められる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織をこえた会議体がある（地域づくり協議会）
	社会情勢・環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが広く利用できる自習学習室を設置してほしい（夏休み等だけではなく）1週間のみ ・コロナ後のイベント再開 ・各地の祭等 ・災害時の避難行動要支援者支援の個別避難計画作成（名簿共有でとまっている） ・大規模災害が各地で発生しているので、防災意識が向上している 		<ul style="list-style-type: none"> ・法の制定等が見直しされたことにより実現される事業形態が増えてくる→一般企業参入など ・市民の障害への理解は進んでいる ・民生委員との連携が増えた→地域の現状がよく伝わるようになってきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体の高齢化、核家族化→社会の関心が高まって来ている（高齢化、介護）

逆風	弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと感がない、新旧の距離 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室など高齢者向けが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア事業の取り組みが遅れている（国立との壁が崩せてない） ・障害者本人だけではなく、家族支援を実施していくことも今後必要である（多い） ・福祉の問題に自分ごとと思えないと関心をもっていない ・障害者は意見の表明が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢・少子化で介護で家族が孤立している
	社会情勢・環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でみまもり支え合い事業「トコロんおかえりQR」の活用がされていない ・コロナにより自治会町内会の機能が弱まった ・個人情報保護の関係から自分の情報を他人に知られることを嫌がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味・趣向の多様化→“幸せ”をどこで感じるか、人との出会いを好まない人もいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多問題ケースの対応（貧困、高齢、障害、子ども等） ・行政のたて割りで対応できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人への支援はあるが家族にはない
これから取り組むべきこと	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用（借り上げ）により、集会施設の増設 ・空き家を利用した起業支援 <p>【所沢市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の施設整備を進めてほしい→（IT） ・自習学習室を継続利用したい ・地域で助けあうために必要な個人情報の解放→基準・ルールをつくる ・コロナを言い訳にしない気持ち 	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンター、町内会施設を活用した幅広い催しの開催→e スポーツへの取組。高、障、子、平等に競え楽しむ。 ・ボッチャもある ・モルック（フィンランドの多世代型スポーツ：小手指まちセン）弱い子が勝てたりする ・介護予防教室だけでなくヨガ教室でアプローチ ・多様性への理解 ・互いを認めあう 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が考えている福祉を行政が実現に動く環境づくり？ <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が福祉に取り組みやすい街づくり→子どもの時から障害者接する機会 ・ちょっと困っている人に声をかけることのできる街 ・家族が高齢化する時のサポートが必要 ・本人だけでなく家族のことも考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護は本人プラス家族の理解を促す <p>【所沢市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代＝介護世代に対する支援制度 ・各世代が集うまちづくり ・子育て世代と介護世代はイコール ・相談窓口の一本化（医療・介護） ・相談窓口の市民への周知 	

1 班 検討用模造紙

1 班 人と人の絆を紡ぐまち (福祉、防災・防犯、地域活動 など)

最目	子どもから高齢者まで広く集える 居場所づくり等により、 地域力の向上、防災の強化を	幸せを感じられない人が がいづくりを進める	障害・高齢の枠を超えた 「一人のひと」としての関わりや支援を行う	ライフステージごとの家族のケアや介護への 支援体制 (青壮年層が親世代の世話をしやすい まち)をつくる	
キーワード	地域福祉・地域づくり・防	生きがいづくり	個々への支援	ケア・介護支援	
追い風	社会情勢・ 環境要因	<p>子どもが広く利用 できる 学習空間 を創出したい (公園の外)</p> <p>コロナ禍で 子ども (学校)</p> <p>災害時の避難 行動要領を 見直し (避難所 の確保)</p>	<p>法的制度が 見直し 実現 可能な 支援</p> <p>一般参事入会 市庁の ハコブシ に近い</p> <p>民生委員の 連携 が 必要</p>	<p>社会の関心 が 高まっている (NPO)</p> <p>社会 の 関心 が 高まっている (NPO)</p>	
	強み	<p>地域を 活用 した 活動 の 展開</p> <p>コロナ禍 での 活動 の 展開</p> <p>個人 情報 の 活用</p>	<p>趣味 志向 の 97 種 別</p> <p>「安心」 を 感じ た 人 の 数 が 増 え て い る</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>本人 への 支援 が 必要 な 場 面 に は ない</p>
逆風	社会情勢・ 環境要因	<p>地域を 活用 した 活動 の 展開</p> <p>コロナ禍 での 活動 の 展開</p> <p>個人 情報 の 活用</p>	<p>趣味 志向 の 97 種 別</p> <p>「安心」 を 感じ た 人 の 数 が 増 え て い る</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>本人 への 支援 が 必要 な 場 面 に は ない</p>
	弱み	<p>地域を 活用 した 活動 の 展開</p> <p>コロナ禍 での 活動 の 展開</p> <p>個人 情報 の 活用</p>	<p>趣味 志向 の 97 種 別</p> <p>「安心」 を 感じ た 人 の 数 が 増 え て い る</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p> <p>市内 の 各 所 で 活動 が 進 行 中</p>	<p>本人 への 支援 が 必要 な 場 面 に は ない</p>
取り組み これから	<p>市民・行政・企業</p> <p>空手家の活用 (格闘技)</p> <p>空手家を 活用した 活動</p>	<p>市民・行政・企業</p> <p>空手家の活用 (格闘技)</p> <p>空手家を 活用した 活動</p>	<p>市民・行政・企業</p> <p>空手家の活用 (格闘技)</p> <p>空手家を 活用した 活動</p>	<p>市民・行政・企業</p> <p>空手家の活用 (格闘技)</p> <p>空手家を 活用した 活動</p>	<p>市民・行政・企業</p> <p>空手家の活用 (格闘技)</p> <p>空手家を 活用した 活動</p>

2班・子どもが大切にされるまち（子育て・教育 など）

最終目標		子どもたちが健やかに育ち、 様々な力を育める	どの家庭環境にある人でも元気に安心して子育てができる	まちぐるみ、地域ぐるみ（子育て中以外の人も巻き込む）で次代を担う子ども達を育てる	義務教育終了までに自発的に行動できるよう 社会で生きていく基礎を身に付ける
追い風	強み	【施設や取り組みが充実している】 <ul style="list-style-type: none"> ・出産からの切れ目ない支援 ・子育て支援拠点多い ・学童保育の利用の間口が広い ・公園、自然が多い 	【施設や取り組みが充実している】 <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援センターマーガレットの認知度が上がりつつある?? ・国立障害者リハビリテーションセンター防衛医科大学病院がある 	【地域で支える環境がある】 <ul style="list-style-type: none"> ・子や親子が集える場が多い ・おじいちゃん、おばあちゃん、パパの参加 【地域が元気】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館の地域参画（OB・OGの参加も多い） ・地域、自治会の理解 ・お元気そうな老人が多い→子どものサポーターをできそう 	【児童館が充実している】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館が 11 館もある（県内 3or4 位）
	社会情勢・ 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもまんなか社会 ・コロナ禍でできなかった野外活動の再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもまんなか社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの拡大 ・放課子供総合プラン（国） ・市が街づくりに対してとても前向き ・地域のお祭りが復活し始めている 	
逆風	弱み	【せっかくの施設や取り組みが利用されていない】 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園が行う地域向けの子育て支援事業が知られていない <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てサークル減っていない? ・広場が少ない 	【専門的な医療機関の不足】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内に発達障害を専門的に看るクリニックの不足 【施設の利用しづらさ】 <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の利用許可がシブめ... 	【忙しすぎる毎日／孤独な子育てをしている家庭もすくなくない】 <ul style="list-style-type: none"> ・共働き家庭がほとんど ・親も友達も近くにいない・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖的な学校 	【役員等のなり手不足】 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA が罰ゲーム!? ・PTA、育成会不要論 ・育成会の役員不足、ポイント制

			<p>【一人ひとりの意識に上での隔たり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害ある/なし→こんな線あるっけ？ 		
	社会情勢・環境要因		<ul style="list-style-type: none"> ・児相がパンクしそう（対応数多すぎ） ・生活に必要なもの・コトの値上げ、課税支出が多い 	<p>【今の保護者も教員も忙しすぎる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が忙しすぎる ・コロナ後の新しいシステムがまだよくわからない 	<p>【今の保護者も教員も忙しすぎる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が忙しすぎる ・教員の不足、疲弊する教員 ・学校に行けないと何もなくなる、リモート授業等 ・図書館の本をもう少しUpdateする
これから取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経験して、よかったことを今後へ活かす ・病院、施設の予約待ちを短くしたい <p>【身近な居場所を増やす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて子育てをする人がふらっと行ける近所の居場所を増やしていく ・手あそびなどしているだけでも、会話が生まれ何とかなる 	<p>【相談先を迷わなくてすむための窓口をつくる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てのワンストップサービスの充実 ・子どもよろず課が必要 ・子育てコンシェルジュがいたらいいな <p>【せっかくある施設や事業をもっと利用してもらうための情報発信を工夫する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設に他の施設の紹介コーナー広報を作る 	<p>【子育ての当事者以外の人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者以外の人（地域の高齢者など）を味方にする <p>【困った時にいつでも相談できる体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17時15分以降子育ての相談ができる場所が欲しい <ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュがいたらいいな ・すでにあるシステムを上手く活用 	<p>【子育ての当事者以外の人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者以外の人（地域の高齢者など）を味方にする ・そこで育った子が「恩返しサポーター」的な登録をできるしくみ（児童館のOB・OGなど） ・子どものOB参加を推進 <p>【活動の楽しさを発信する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の楽しさの発信 	

		【小児医療体制の充実】 <ul style="list-style-type: none">・市内の小児医療体制の充実・トリアージする窓口が必要		【活動の見直しも必要】 <ul style="list-style-type: none">・地縁団体（自治会、PTA、育成会 etc）の必須事項の棚おろし
--	--	--	--	---

2 班 検討用模造紙



3班・健幸（けんこう）長寿なまち（健康・医療、スポーツ など）

最終目標		医療・介護の連携を含めた 地域医療が充実している	各ライフステージに合わせた 睡眠・食事・運動の重要性を 意識して、心身の健康・体力 づくりに取り組む	誰もが、気軽に、いつでも、 どこでも、いつまでも、 身体を動かしたくなるような 環境をつくる
追い風	強み	【介護】 ・介護の連携 【受診】 ・親子そろって受診率が上がっている 【救急】 ・小児急患診療（夜間・休日） ・救急医療体制の充実	【食・栄養】 ・子育て、高齢者において、食事、栄養に 対する取り組み ・食の地産・地消 【情報】 ・健康ガイドの配布 【身体を動かす】 ・健康意識の高さ→トコトコ健幸マイレ ジ	【体験機会】 ・ゴールボール体験会の実施 【プロスポーツ】 ・プロスポーツチームが2つある（野球・ バスケット） 【市独自の体操】 ・各地域でのトコシャン体操
	社会情勢・ 環境要因	【医療施設数】 ・病院が多い		
逆風	弱み	【保健所がない】 ・市に保健所がない 【人材不足】 ・医療従事者の不足 【情報発信】 ・機能の周知不足	【やせ】 ・栄養、食事に対する取り組みが薄い、20 ～30代女性、中高年（働き世代） ・20代女性やせ 【孤食】 ・孤食の予防 【情報】 ・高齢者の低栄養の取り組み ・全体広報手段の少なさ ・平均・健康寿命に関する情報提供が少な い ・情報発信	【情報】 ・スポーツの取り組み（ICT の活用、栄養 も？） 【やりにくい】 ・スポーツに対するやる気が出ない
	社会情勢・ 環境要因	【新興感染症のリスク】 ・コロナ等		【やりにくい】 ・仕事で忙しい人が多い

<p>これから取り組むべきこと</p>	<p>【人材発掘・発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア（パートなら時短でも）募集 ・在宅有資格者の掘り起こし ・インターネットの活用（人材募集会社への掲載、SNS） <p>【家庭医】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭医があるとよい 	<p>【現実に見合った栄養・食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外食・中食の活用 ・たんぱく質を摂るフェア開催（例：肉フェア etc） ・定期にお弁当配布 <p>【講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座の様なイベントを設け、広報誌で伝える <p>【市民の健康に関する情報把握】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員からの情報提供 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境づくりの積極的な発信、カフェイン、し好品、睡眠 ・影響力ある人（ユーチューバーなど） ・SNS の利用→自分の健康状況把握 ・学校などで周知（チラシ、市職員の学校訪問 etc） ・駅など広告がある所に掲示 ・スーパーでの情報発信 	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツチーム活用の情報発信 <p>【呼びかけ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント事に誘う（外出させるため） <p>【体験機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっかけづくりの場の提供、体験会など <p>【日常から歩く！動く！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生との共催 ・おさんぽコース ・テレビ・ラジオ体操の推進
---------------------	---	---	---

3 班 検討用模造紙

3 班 健幸 (けんこう) 長寿のまち (健康・医療、スポーツ など)

最終目標	医療・介護の連携を含めた地域医療が充実している	各ライフステージに合わせた睡眠・食事・運動の重要性を意識して、心身の健康・体力づくりに取り組む	誰もが、気軽に、いつでも、どこでも、いつまでも、身体を動かしたくなるような環境をつくる
キーワード	地域医療体制	健康づくり	健康を意識できる環境づくり・スポーツ

追い風	社会情勢・環境要因	<p>「介」 介護の連携</p> <p>「産」 親子と3.7 受診率上がる</p> <p>「急」 小児急患診療 (夜間、休日) 救急体制の充実</p> <p>「食」 食生活の改善</p> <p>「小」 小児科の充実</p> <p>「体」 健康意識の高まり</p> <p>「地」 地域での取り組み</p>
	強み	<p>「介」 介護の連携</p> <p>「産」 親子と3.7 受診率上がる</p> <p>「急」 小児急患診療 (夜間、休日) 救急体制の充実</p> <p>「食」 食生活の改善</p> <p>「小」 小児科の充実</p> <p>「体」 健康意識の高まり</p> <p>「地」 地域での取り組み</p>
逆風	社会情勢・環境要因	<p>「新」 新型コロナウイルス</p> <p>「人」 人材不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p> <p>「信」 情報の不足</p> <p>「若」 若者の不足</p> <p>「子」 子育ての不足</p> <p>「情」 情報の不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p>
	弱み	<p>「新」 新型コロナウイルス</p> <p>「人」 人材不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p> <p>「信」 情報の不足</p> <p>「若」 若者の不足</p> <p>「子」 子育ての不足</p> <p>「情」 情報の不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p>
これから	市民・行政・企業	<p>「人」 人材発掘・発信</p> <p>「現」 現実的な対策</p> <p>「信」 情報把握</p> <p>「小」 小児科の充実</p> <p>「若」 若者の不足</p> <p>「子」 子育ての不足</p> <p>「情」 情報の不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p>
	弱み	<p>「人」 人材発掘・発信</p> <p>「現」 現実的な対策</p> <p>「信」 情報把握</p> <p>「小」 小児科の充実</p> <p>「若」 若者の不足</p> <p>「子」 子育ての不足</p> <p>「情」 情報の不足</p> <p>「小」 小児科の不足</p>

4班・みどりあふれる持続可能なエコタウン（環境 など）

時間が無い（Point） できるだけ早く取り組む

最終目標		低炭素社会を構築する	教育や体験などの実践により、植物や生き物のかけがえのなさに関する意識の向上を図る	自然と共生できる緑豊かなまちと心豊かな暮らしを未来の子ども達に引き継ぐ	循環型社会を形成する	環境分野と教育、福祉、健康、産業が有機的につながり、持続可能なまちづくりを進める
追い風	強み	<ul style="list-style-type: none"> 水素自動車の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協同 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な虫の保護 ex ホタルなど 学校ビオトープ設置 生物多様性の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の充実 分別の多さ ゴミの分別（細かくてよい）→意識高まる 広報等による周知 環境推進員の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボン推進会議 シルバー人材センターボランティア等の協力がある
	社会情勢・環境要因	<ul style="list-style-type: none"> カーボン「0」低炭素社会 スマートハウス化（断熱など） 未来電力（再生エネの促進） 太陽光発電の促進 まちごと「0」カーボン 水素燃料の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協同 トトロの森での校外学習 フィールド（保全地）はたくさんある！！ 県立博物館（いきふれ、緑森博物館）がある 自然が豊か（居住地としてもよい） みどりのふれあいウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> COP15 を踏まえ民間の取り組み、気運の高まり 緑が多い特徴（保全・協働管理） 多様性の保全 市の保全方針（生物多様性） 市民活動が盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> 日本はきれいな国という世界の評価 ゴミの減量資源化（家庭、事業所）分別、計画化 補助金の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との連携（専門的知識） 企業との連携 公害への規制、調査実施と対応
逆風	弱み	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電、蓄電池、EV、FCV など初期投資に費用がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の中での扱っていない？足りてない 環境教育の実践が少ない？ 担い手不足、現状を知って伝えられる人 学校教育への生物多様性の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 川に捨てられるプラゴミ 市民の多様化による意識の低下 ヒートアイランド現象（マンション開発や大型商業施設が増えている） 雨水を地下へ→森林へ 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の高齢化、職員数の減少（回収） 	<ul style="list-style-type: none"> イベントとのコラボレーション

	<p>社会情勢・環境要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素 2030 年、2050 年までに間に合うか？ ・水素ステーションの数が少ない ・世界的な温暖化 ・自分ごととしてとらえづらい ・頑張っても評価されない ・メリット感じない ・努力義務 ・興味ある人のみ情報を得ている（どう広めていくか） ・実行しても自分がどれだけ CO2 削減したかわからない ・CO2 の吸収源市内で足りる?? ・補助金があっても足りない ・市民への活動共有と参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の中での扱いはない？足りてない 	<p>の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性 2030 年、2050 年まで間に合うのか？ ・人、金まだまだ不足 ・生物多様性への理解が難しい ・野生種の保護 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファストファッション、ファストフード、消費を是とする社会構造→ぬけ出しにくい ・燃やさなくていいものを焼却している ・分別への苦情（細分化 etc） ・回収の回数が限定される（対象物） ・ライフスタイルの変化 ・分別が多すぎると途中で面倒くさくなる！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全体への環境啓発 ・自分のこととして体験、考える機会の提供→環境とのつながりを考える ・イベントとのコラボレーション
<p>これから取り組むべきこと</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ、省エネの必要性やメリットを啓発 ・太陽光発電、蓄電池を導入 ・再生可能エネルギー率の高い電力の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、市の施策と連携した取り組みを！！ ・机上も大切、フィールド体験も大切！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が意識を持って行動！！ex そもそもポイ捨てしない！ ・学校をベースとするエコキャンペーン ・体験型の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ捨て場の整備 ex カラス被害防止 ・分別の大切さを SNS 等を使って広げる！！ ・生ゴミと木質で発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンの指針 ・ゼロカーボンの予算とりにやすく 【企業】 ・街づくりの際に緑化

	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減量の見える化 ・キャンペーン期間など意識づけ ・自動車をエコカー (EV、FCV) ・自転車、公共交通機関利用 ・省エネ家電 ・シェアサイクルの利用 ・全公共施設に太陽光を ・ナラ枯木の炭焼き <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の充実 ・自分事として楽しく取り組める仕組検討 ・経済的社会的インセンティブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・三富今昔村体験型環境学習の連携 ・公立学校へ情報提供 (年間指導計画と照らし合わせて…) ・移動博物館など公共施設の利用 (図書館とのコラボなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内に生物多様な空間 ・生物多様性に関する職員の研修 	<p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等での資源回収 ・拡大生産者責任 	
--	--	--	---	---	--

4 班 検討用模造紙

4班 みどりあふれる持続可能なエコタウン（環境 など）

最終目標

低炭素社会を構築する

教育や体験などの実践により、植物や生き物のかけがえのなさに 関する意識の向上を図る

自然と共生できる緑豊かなま 心豊かな暮らしを 未来の子ども達に引き継ぐ

環境分野と教育、福祉、健康、 → 産業が有機的につながり、 持続可能なまちづくりを進める

キーワード

CO2削減

環境教育

自然保護

循環型社会

環境と各分野の連携

追い風

環境要因

社会情勢

逆風

市民・行政・企業

取り組むべきこと

追い風: 水素自動車の導入、カーボンフリー社会（スマートシティ）への移行、太陽光発電の普及、水素燃料の活用。

環境要因: COP15を踏じた国民の気候意識の高まり、自然の豊かさの確保、都市の緑化、自然の豊かさの確保、都市の緑化、自然の豊かさの確保、都市の緑化。

社会情勢: 2030年 世界の平均気温の上昇を抑制する、2050年 世界の平均気温の上昇を抑制する、2030年 世界の平均気温の上昇を抑制する、2050年 世界の平均気温の上昇を抑制する。

逆風: 化石燃料の価格高騰、脱炭素社会の実現に向けた課題、脱炭素社会の実現に向けた課題、脱炭素社会の実現に向けた課題、脱炭素社会の実現に向けた課題。

市民・行政・企業: 自治体の取り組み、企業の取り組み、市民の取り組み、自治体の取り組み、企業の取り組み、市民の取り組み、自治体の取り組み、企業の取り組み、市民の取り組み。

取り組むべきこと: 省エネの推進、EVの普及、太陽光発電の導入、水素燃料の活用、省エネの推進、EVの普及、太陽光発電の導入、水素燃料の活用、省エネの推進、EVの普及、太陽光発電の導入、水素燃料の活用。

関係がない (point)

5班・魅力・元気・文化を誇れるまち（産業・文化 など）

最終目標		「新たな文化」と合わせて、まちの魅力を国内外にPRする	元来の文化・伝統を守り、誇りに思えるブランド力のあるまちを継承する	各産業において新たなことを推進する
追い風	強み	【施設・資源】 ・サクラタウンや物産館がある ・市内にシェアサイクルの仕組みがある	【施設・資源】 ・ミュージアムがある（→市民だけでなく、市外の人も訪れている） ・西武ドームがある 【情報発信】 ・市内のお散歩マップがある ・QRコード付きの観光案内の掲示があ（見どころスポットに関する情報を伝える）	【所沢ならではの名物・資源】 ・深井ショウユ ・サトイモ ・知る人ぞ知る中小企業
	社会情勢・環境要因	【海外の観光需要】 ・インバウンドが回復傾向 ・中国からの団体旅行が解禁された 【情報発信】 ・西武園ゆうえん地がマスコミでとりあげられている	・文化財保存活用地域計画の作成予定 ・ところざわまつりが復活	【農商工の連携に積極的】 ・所沢のしょうゆと市内産の野菜を使った「所沢やきそば」は所沢ブランド（特産品）となっている。
逆風	弱み	【周遊時間の短さ】 ・まちの滞在時間が少ない（観光バスで来て、短時間で次の場所へ移動するなど） ・シェアサイクルはあるが、観光には使われてないかも	【施設の点在】 ・西部ドームはあるが、周辺にそれ以外に何もない	【関係者の参加】 ・農商工の連携の会議などの場に、農業関係者の人の参加者が少ない 【差別化の難しさ】 ・サトイモは特産品だが、他と差別化しにくい、調理しづらい、重い、などが難点
	社会情勢・環境要因	【外国人観光客の取り込み不足】 ・サクラタウンで外国人観光客を見ない ・マイクロツーリズムブームが終わった？	【情報発信】 ・テレビで取り上げられていても、若い世代がそもそもTV自体を見ていない	【認知度の低さ】 ・「所沢やきそば」を知らない人が少なくない 【アクセスの良さが逆効果】 ・アクセスが良すぎるため、企業が本社をあえて置く動機づけにはならない

<p>これから取り組むべきこと</p>	<p>【食の体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人にとって魅力である「食」をキーワードに所沢を体験してもらう <p>【ターゲットの設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外に、所沢のファンを増やすことを目指し、市外の人を主なターゲットにする 	<p>【回遊性・滞在時間の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊性・回遊性を高めるような「動線」を工夫する ・(日帰りだけでなく)宿泊ができると良い <p>【より多様な形での情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB やアプリで見られる様な情報の提供 ・市民の人たちが普段身近に見ているような媒体 (Twitter、インスタ、ロコミ) に発信していく ・外国人に特化した発信を行う 	<p>【農商工の連携の会議の場を活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携の会議の場で、まずは「どのような連携をお互いに行っていきたいか」を積極的に意見交換していく <p>【企業誘致・既存企業のエンパワメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業も来やすいような立地環境 ・中小企業の力を引き上げる
---------------------	--	--	--

5 班 検討用模造紙



6班・自然と調和する住みよいまち（都市計画 など）

最終目標		市内外の人が訪れたいくなる・住みたいくなる 安心・安全で住みよい住環境を形成	低炭素を意識した持続可能なまちづくりをめざす	地域の魅力・特性を活かした住民主体のソフトな街づくりを推進	自然と調和した土地利用を推進
追い風	強み	【住環境】 ・開発が他市に比較して進んでいる ・街路樹などが美しい（緑が多い） 【道路・交通】 ・コミュニティバスあり ・幹線道路が整備されている 【防災】 ・地盤が強い（災害に） 【立地】 ・物流（2030年問題）	【住宅】 ・所沢市スマートハウス化補助制度あり	【市のイメージ・個性】 ・西武球場で、所沢の場所のアピールはできる 【市民】 ・街のプレイヤーと市のつながり、接点が増加	【自然環境】 ・景勝地が結構ある（PRが必要） ・豊かな自然が残る（狭山丘陵、トトロの森） ・景観条例（とことこガーデン、景観指定） ・自然が身近、都心アクセスが良い
	社会情勢・環境要因		【人口】 ・人口が減っていない ・若い人の流入が多い ・住まいの人気向上がみられる（勤住接近） 【土地】 ・都心の地価上昇 【技術革新】 ・技術進歩（EV、エコ工場）	【マスメディア】 ・所沢のイメージアップ（テレビ・マスコミ等が毎日の様に取り上げる）	【自然環境】 ・気候変動（低炭素への意識の高まり） ・緑がまだまだ残っている CN（カーボンニュートラル）の流れ
逆風	弱み	【道路・交通】 ・道路が狭い、歩道が狭い ・歩道、自動車レーン未整備 ・渋滞が多い （特に根岸交差点）（所沢駅周）	【住宅】 ・土埃がひどい（住宅地） ・空き家の増加	【市のイメージ・個性】 ・一体感、所沢ならではのイメージが薄い	【景観資源】 ・市の特徴がわかりにくい ・豊かな自然を観光資源として生かしきれていない

		辺の渋滞が特に土日ひどい) 【公共交通】 ・バス路線が最適かどうか疑問 ・バスルートが固定 ・道路環境の悪さ→市内外から評判が良くない		【賑わい・魅力】 ・食べ物が美味しい店がない (→安価狙いが裏目に…)	【農地】 ・生産緑地問題 ・市街地の農地減少 ・農村部の農家の収入が減、差別化がおきている(緑を守るあまり)
	社会情勢・環境要因		【土地】 ・土地や賃料が高騰(引っ越しづらい)	【コミュニティ】 ・コミュニティの希薄化	
これから取り組むべきこと		【道路・交通】 ・交通管制の全面的な見直し(道路、信号機の連動) ・道路整備(但しソフト面) ・歩道、道路の整備 【公共交通】 ・EV自動車でタクシーのように市内を循環できるバス ・コミュニティバスのオンデマンド化 ・駅周辺の車の停車(駐車)スペースの確保	【住宅】 ・空き家対策 ・空き家活用 ・「市街地の空き家・空き地」と「農村部の農地」との交換	【プロモーション】 ・旧庁舎跡地の活用(トトロ) ・日本一緑を守る街へ(街路樹、道路) ・市内を眺められる展望デッキ設置(例:市役所8階) 【市民参画】 ・まちづくりへの市民の参画(都市計画マスタープラン、地区計画) ・市民からの提案窓口の一本化	【農地】 ・農業を守る取り組み(自然、地産地消) ・緑と景観地の保存と活用、PR(生産緑地の扱い) ・地区計画の活用・遵守 ・“緑の価値”可視化(街路樹・農地・生垣) 【プロモーション】 ・ストーリーや歴史を盛り込んだ自然のアピール ・所沢の良い点・PR強化 ・自然と利便性(まちの特徴を整理) 【インフラ整備】 ・自然と調和のあるインフラの整備(駐車場etc.)

6班 自然と調和する住みよいまち (都市計画 など)

最終目標	市内外の人が安心・安全で住みよい住環境を形成	低炭素を意識した持続可能なまちづくりをめざす	地域特性を活かした住民主体の“ソフトな街づくり”を推進	自然と調和した土地利用を推進
キーワード	良好な住環境	持続可能なまちづくり	ソフトなまちづくり	土地利用



7班・未来（あす）を見つめたまちづくり（行財政 など）

最終目標		性や年齢、国籍などを問わず誰も取り残されることなく活躍・つながりあうことができるまちづくりを進める	行政間の連携から、広域的なブランド力を効果的に高める	まちの誇りと愛着を醸成し、観光などによる地域全体の人口流入、経済活動の活性化等を図る	地産地消などで地域経済と生活が自律し、必要な機能が集積していることで、暮らし続けたいと思えるまち・拠点をつくる	より効果的に市の取り組みを進める
追い風	強み	【男女共同参画】 ・男女共同参画推進 →企業に対して意識啓発 →賞：荻野吟子賞とか →「ふらっと」 ・市で賞をつくっている	【財政改善】 ・第三セクター（黒字）変な赤字会社なし ・当ミーティング審議会等、市民の意見を聴く機会を設けている	【中心駅周辺】 ・世界農業遺産認定！（所沢・川越・三芳） ・所沢都民の（企業OB含む）地域参画 ・（所沢）駅前の開発 ・ベルーナドーム、KADOKAWA など人をよべる施設がある	【まちの魅力】 ・人口多い、農地多い →地産地消できる条件整っている ・都心に近い（20分） ・有名 →選択肢に入る	
	社会情勢・環境要因			【中心駅周辺】 ・在宅ワークの増大による地域参加のハードル下がる ・所沢駅西口再開発（商業施設R 7秋完成）	【まちの魅力】 ・地場産の農産物 ・TVで取り上げてもらうことが増えた	【DX】 ・デジタル技術（環境）の発展（手軽）
逆風	弱み	【男女共同参画】 ・現実と理想 乖離 →給与、育休、子供の看病、保育園の数とか？ “保育の時間とか” ・男女の給与差 ・保守的な思考が強いように思う	【財政改善】 ・施策の根拠、客観性 ↓ 分析不明 →観光業の市場規模不明、所沢市市民意識調査とか	【中心駅周辺】 ・観光客が宿泊できるホテルが少ない（再掲） ・西武線、JR線と接続がよくない（秋津・新秋津駅） ・街のにぎわい創出のためには多額の事業費（予算）がかかる	【交通の改善】 ・車がなくても生活できる環境 【子ども確保】 ・子どもの社会性の確保が大切で、あまりにも小規模の学校では難しい	【DX】 ・DX・IT活用

			<ul style="list-style-type: none"> ・職員の不祥事や休職者が増加 →障がい者法定雇用率 ▲2名 ・組織横断→決断指揮 誰が決めるの ・第三セクターは利益が増加している →ところざわ未来電力 →ワルツ所沢 ・経常収支率は高い →個人住民税が 138 千円/人から 135 千円/人に減少 ・都境が連携の足かせ？ ・観光客が宿泊できるホテルが少ない ・生活保護費が増加している ・若年層（=当事者）の意見聴取機会少ない（無い？） 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前店がなくなる →西友 小手指 →パルコ 新所沢 →西武 所沢 	<ul style="list-style-type: none"> →三ヶ島（2クラスに減少） →荒幡（2クラスに減少） →所沢小（6クラスに増加） 	
--	--	--	---	---	--	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・住民と市のギャップ 市の説明力が不足している→所沢は税が高い！（ウソが広がる） 			
	社会情勢・環境要因			【中心駅周辺】 <ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅前の開発が一か所に集中している 		
これから取り組むべきこと	【男女共同参画】 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き男女共同参画に力を入れる ↑ ・制度的に男女共同参画になっている 	子供の意見を！ <ul style="list-style-type: none"> ・子供の意見をもっと聴くべき、U-29 よりもっと若い人の意見を（U-29 は今年度スタート） ・職員のメンタルヘルスの確保 ・経常収支比率の改善をしたいが民生費の拡大で難しい ・市の財政状況を丁寧に説明すること →出前講座や市のHPでわかりやすく説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊場所（ホテル）の整備 	【交通の改善】 <ul style="list-style-type: none"> ・JR、西武等の乗り換え等の改善 【子ども確保】 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまちづくり 	【DX】 <ul style="list-style-type: none"> ・DX、ITの活用をすすめる 	

7 班 検討用模造紙

7 班 未来 (あす) を見つけたまちづくり (行財政 など)

最終目標	性や年齢、国籍などを問わず誰も取り残されることなく活躍・つながりあうことができるまちづくりを進める	行政間の連携から、広域的なブランド力を効果的に高める	まちの誇りと愛着を醸成し、観光などによる地域全体の人口流入、経済活動の活性化等を図る	地産地消などで地域経済と生活が自律し、必要な機能が集積していることで、暮らし続けたいと思えるまち・拠点をつくる	より効果的に市の取り組みを進める	
キーワード	人権の尊重	行政経営	地域活性化	住み続けたいまちづくり	施策の推進	
強み 追い風	社会情勢・環境要因 強み	男女共同参画 男女共同参画 企業は対して 意識が低い 女性活躍推進法 など 子育て支援 など	財政改善 第三セクター(国子) 当三ライオン会 当三ライオン会 市民共済 当三ライオン会 当三ライオン会	中心駅 駅2-7-7の増大による 地域全体のハードル下がる 駅前 駅前 駅前	まちの長刀 地産地消 農産物 TV2取組 おじいちゃん 南上E	DX デジタル技術の 活用 DX DX
	社会情勢・環境要因 弱み	母子の不安 母子の不安 母子の不安 母子の不安	財政改善 第三セクター(国子) 当三ライオン会 当三ライオン会 市民共済 当三ライオン会 当三ライオン会	中心駅 駅2-7-7の増大による 地域全体のハードル下がる 駅前 駅前 駅前	まちの長刀 地産地消 農産物 TV2取組 おじいちゃん 南上E	DX デジタル技術の 活用 DX DX
弱み 逆風	社会情勢・環境要因 弱み	母子の不安 母子の不安 母子の不安 母子の不安	財政改善 第三セクター(国子) 当三ライオン会 当三ライオン会 市民共済 当三ライオン会 当三ライオン会	中心駅 駅2-7-7の増大による 地域全体のハードル下がる 駅前 駅前 駅前	まちの長刀 地産地消 農産物 TV2取組 おじいちゃん 南上E	DX デジタル技術の 活用 DX DX
	社会情勢・環境要因 弱み	母子の不安 母子の不安 母子の不安 母子の不安	財政改善 第三セクター(国子) 当三ライオン会 当三ライオン会 市民共済 当三ライオン会 当三ライオン会	中心駅 駅2-7-7の増大による 地域全体のハードル下がる 駅前 駅前 駅前	まちの長刀 地産地消 農産物 TV2取組 おじいちゃん 南上E	DX デジタル技術の 活用 DX DX
取り組むべきこと	市民・行政・企業	母子の不安 母子の不安 母子の不安 母子の不安	財政改善 第三セクター(国子) 当三ライオン会 当三ライオン会 市民共済 当三ライオン会 当三ライオン会	中心駅 駅2-7-7の増大による 地域全体のハードル下がる 駅前 駅前 駅前	まちの長刀 地産地消 農産物 TV2取組 おじいちゃん 南上E	DX デジタル技術の 活用 DX DX